

事務事業評価シート

(H.28)No.	1040	(H.27)No.	1040
-----------	------	-----------	------

事務事業名	軽度生活援助事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	介護・高齢支援室	宮崎 正秀	

会計区分	事業コード	142201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	軽度生活援助事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	軽度生活援助事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
日常生活上の軽度の援助が必要な単身高齢者等が、在宅での自立した生活を継続し、要介護状態に陥ることを予防することができる。
事業内容
市が事業を委託している事業者により、家事援助及び軽作業等の援助を行う。 対象者は老化等の理由により、軽度な生活上の援助が必要な65歳以上の単身者、高齢者のみの世帯。 利用者負担は、1時間当たり500円で月4時間を利用限度とする。 市の委託料は、1時間当たり425円。 事業はシルバー人材センターに委託。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・425円/h×4時間/月×144.16人×12ヶ月≒2,940千円 延べ利用者数 2,051人 登録者数 802人	・425円/h×4時間/月×121.42人×12ヶ月≒2,477千円	・425円/h×4時間/月×121.42人×12ヶ月≒2,477千円	・425円/h×4時間/月×121.42人×12ヶ月≒2,477千円	・425円/h×4時間/月×121.42人×12ヶ月≒2,477千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	2,940千円	2,477千円	2,477千円	2,477千円	2,477千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 2,940	2,477	2,477	2,477	2,477
人工数					
職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等	0.04人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
②概算人件費	(0千円) 600千円	617千円	617千円	617千円	617千円
①+②総事業費	(0千円) 3,540千円	3,094千円	3,094千円	3,094千円	3,094千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として、高齢者の在宅生活の継続に寄与している。 平成27年10月より実施している介護保険の新しい総合事業の事業対象者の家事援助サービスについては総合事業へ移行している。	対象者に対し適切なサービスに努める他、介護保険制度改正に合わせ、生活支援に係るインフォーマルサービスの育成等の推進を図る。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	軽度な生活上の援助が必要な65歳以上の単身者、高齢者のみの世帯に対する保健福祉サービスの一躍を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	委託先を地域ボランティア組織等へ拡充していく他、実情に応じた事業を考える。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
委託先を地域ボランティア組織等へ拡充していく他、実情に応じた事業を考える。	